

保険業における人力運搬機を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
2	11~12	顧客宅訪問の途中、被災地の交差点を自転車で横断していたところ、前方より右折してきた自動車に驚いて転倒して受傷したものである。	79	100 ~ 299
2	15~16	自転車で道路を走行中、目的地を通り過ぎたため、慌ててブレーキを掛け降りようとして右足が車体に引っかかり転倒した。	55	30 ~ 49
2	18~19	自転車でお客様宅へ向かう途中、前方から来た自転車をよけようとした際、転倒しかけたのを踏ん張って受傷した。	34	—
3	17~18	営業部より顧客宅を訪問する為、自転車で雨の中ビニール傘を差して運転中、交差点の手前で車が渋滞のため停車中に、車両の右側に出たところ対向車と接触し転倒した。尚、停車車両の左側は空間が狭く、自転車での通行が不可と判断し、右側に出た。	43	500 ~ 999
5	10~ 11	駅付近において自転車走行中に転倒し頭を打った。（前後の記憶が不明）	66	10 ~ 29
5	12~ 13	お客様宅へ自転車で訪問途上、交差点付近で車道から歩道へ乗り上げようとしたところ、タイヤが段差に引っ掛かり勢いよく右側に転倒し、右肋骨骨折、右肘の擦り傷と打ち身、右肩と右膝の打撲、右腕全体に痺れを負った。	42	300 ~ 499
6	12~ 13	踏切内を自転車で渡ろうとした際、前輪が線路の溝にはまって左足首を捻り、両膝もかすり傷を負った。	64	500 ~

				999
7	13～ 14	執務室入口前の廊下で立っていた際、搬送者の視線より高く積まれた段ボール箱を載せた台車が、背後より追突してきて転倒した。	46	500 ～ 999
7	18～ 19	自転車での訪問途上にて、初めての訪問で道を間違えたためUターンしたところ、小さく右回りした際にバランスを崩し、自転車ごと右側に転倒し、右大腿骨骨折と右手首打撲の怪我を負った。	57	50 ～ 99
7	17～ 18	お客様との約束後、駅から自転車で帰宅する途上の事故である。走行中、歩行者を避けようとしてバランスを崩し、自転車ごと右側に転倒して左手を地面についた。その際、左手親指の爪が剥がれ、左手親指第一関節骨折、顔面右側打撲、左鎖骨打撲、右肩ひびの怪我を負った。	51	30 ～ 49
7	19～ 20	客先へ向かうため、電動自転車で走行中、かなり細い道にもかかわらず、後方より乗用車が追い立てるように近づいてきたため、危険を感じ、山の方に慌てて逃げ込んだ。車が通り過ぎた後、自転車の方向転換をし損ない、バランスを崩し、自転車に乗ったまま倒れ込み、積んでいたパソコンをかばい、咄嗟に自転車を足で受け止め、足を打撲した。無理な姿勢で自転車を起こしたためか、足と腰を痛めた。翌朝、腰痛がきつくなり、足が腫れて歩きづらくなってきたため病院に行った。	57	100 ～ 299
7	11～ 12	交差点を自転車で走行中、停止すると思っていた車が左側から走行して来てぶつかり、転倒して怪我をし、救急車で搬送された。	43	50 ～ 99
9	15～ 16	届出用紙の取り付けの為、自転車にて走行中に人が飛び出し、避けようとして自転車が転倒した。	67	50 ～ 99
10	17～ 18	生命保険の営業の仕事を自転車にて行っていた際、お客様宅近くで自転車を降りた時、着地が悪くなり左膝を捻ってしまい被災した。	54	500 ～ 999
	11～	お客様宅訪問のため、自転車で走行中道を違えたため、戻ろうとした時に重心が右		500

10	12	に傾き自転車ごと倒れた。	28	～ 999
10	14～ 15	自転車走行中に後方よりトラックが追い越しをかけてきたところ、対向車がみえたためハンドルを左側に切った結果、左側を走行していた被害者運転の自転車に接触し転倒した。	58	100 ～ 299
11	9～ 10	お客様宅を自転車で訪問途上の事故である。お宅前で自転車を停めた際、前籠が重くてスタンドが外れ、自転車が右側に倒れてきた為、避けようとして右足甲外側を強打した。休日出勤の届けは提出しており、お客様対応の為の活動で半日出勤となる。傷病部位は右足甲外側骨折。	51	30 ～ 49
11	15～ 16	お客様との待ち合わせ場所に自転車で向かう途上の事故。歩道を走行中、歩道を横切り駐車場に入ろうとした車がいたため急ブレーキを掛けたところ、地面が雨で濡れていたため滑って左側に転倒した。相手と接触はなく立ち去られたため氏名等不明。右膝の痣は籠で、右足の付け根の痣はサドルにぶつけた気がする。アポ後に他に行く予定があることをお客様に伝えたところ、近くのスポーツセンターまで来て下さることになっていた。左腕、左肋骨の骨折し、右膝、右足の付け根、右手の親指、左の腸骨部が痣となった。	43	30 ～ 49
12	16～17	交差点を自転車で走行中、交差点内で車にはねられ、現在も意識不明で入院中である。	63	30 ～ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html